



地方創生2.0に向けた内外「新結合」ネットワーキング会合

JANPIAのインパクト投資の取り組み

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構(JANPIA)
出資事業部長 小崎亜依子



JANPIA

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構



- 2024年1月よりJANPIAの出資事業部に参画し、日本におけるインパクトファーストな投資市場の創設に取り組む
- 2020年から2022年まで、金融庁においてサステナブルファイナンス専門チームの立ち上げに携わり、さまざまな政策の策定を支援
- 2007年から2015年まで、日本総合研究所(JRI)において、金融機関のESG投資戦略や商品の開発を支援するとともに、日本証券アナリスト協会の企業価値分析におけるESG要因研究会などにも参加し、ESGの普及啓発などにも取り組む
- スタートアップ企業でジェンダーダイバーシティや新しい働き方に関する事業開発に携わり、主に女性を対象に100人以上のキャリア開発支援なども実施
- 上記のほか、プライム上場企業の社外取締役なども務める

ピッツバーグ大学公共政策国際関係大学院・修士課程修了、慶應義塾大学総合政策学部卒

公益社団法人 日本証券アナリスト協会 認定アナリスト(CMA)



一般財団法人日本民間公益活動連携機構 (Japan Network for Public Interest Activities:JANPIA)

- 休眠預金等活用法における「指定活用団体」
- 経団連主導で設立
 - 経済界・労働界(連合)・アカデミア・ソーシャルセクターなど、オールジャパンで連携し制度を支えていく

ビジョン 誰ひとり取り残さない持続可能な社会作りへの触媒に。

数字で見る休眠預金等活用事業の全体像



助成・出資事業数

(資金分配団体・活動支援団体(助成)による)

250事業

(累計)

通常枠(助成)	145事業
緊急支援枠(助成)	94事業
活動支援団体(助成)	7事業
出資	4事業

助成・出資予定総額※1

約394.4億円

(累計)

通常枠(助成)	248.4億円
緊急支援枠(助成)	124.6億円
活動支援団体(助成)	3.3億円
出資	18.0億円

資金分配団体・活動支援団体総数

(コンソーシアム構成団体含む累計団体数)

369団体

資金分配団体・活動支援団体250団体
+コンソーシアム構成団体119団体※2

複数事業採択を除く、
資金分配団体数

149団体

資金分配団体/活動支援団体 106団体
コンソーシアム構成団体 43団体※2

実行団体・支援対象事業数

(累計)

1533事業

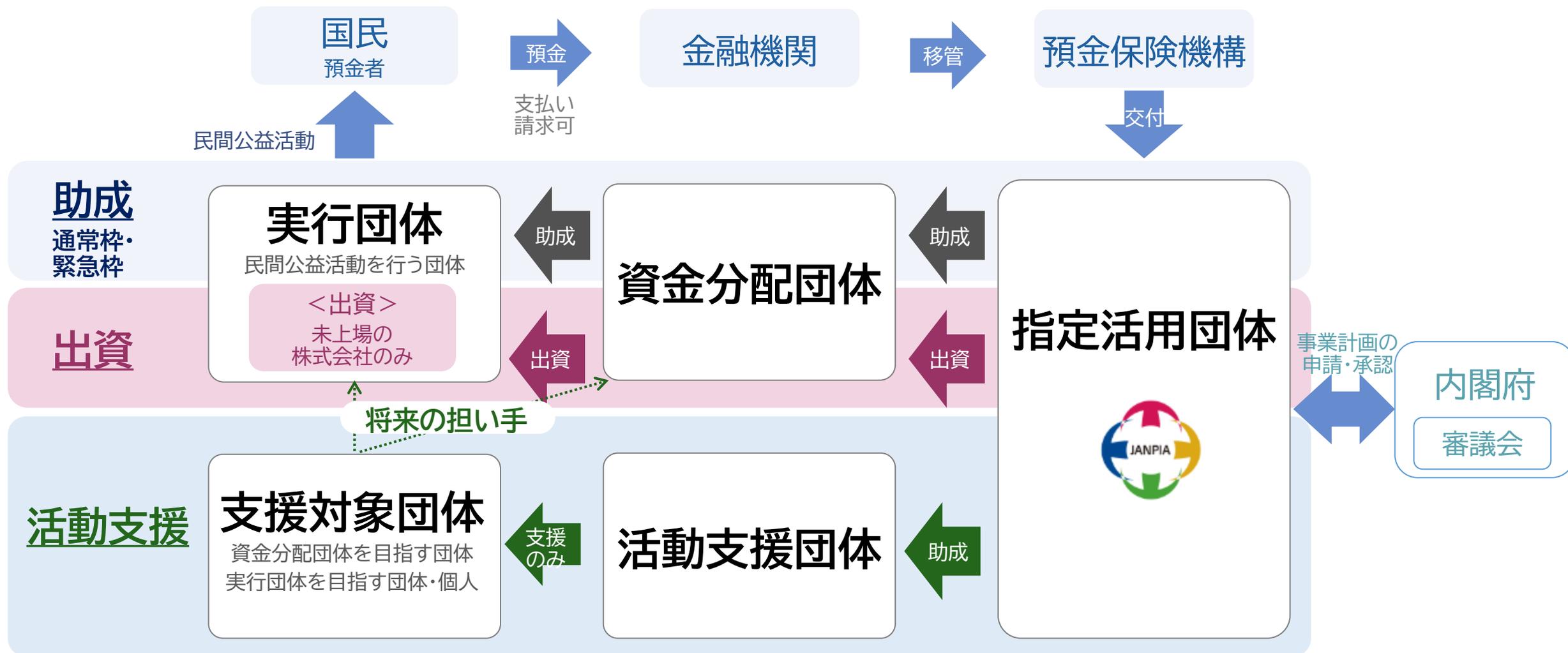
通常枠(助成)	690事業
緊急支援枠(助成)	817事業
活動支援(助成)	26事業

※1 2020年度に実施した2019年度採択団体向けの新型コロナウイルスに対応した助成3.5億円については、通常枠に加算している。また、各年度の採択公表時に掲載した助成金額を足し合わせ、端数を切り捨て処理している。

※2 コンソーシアムにおいて、構成団体・非幹事団体として採択されている団体のみをカウントしている。出資における共同申請者も含む。

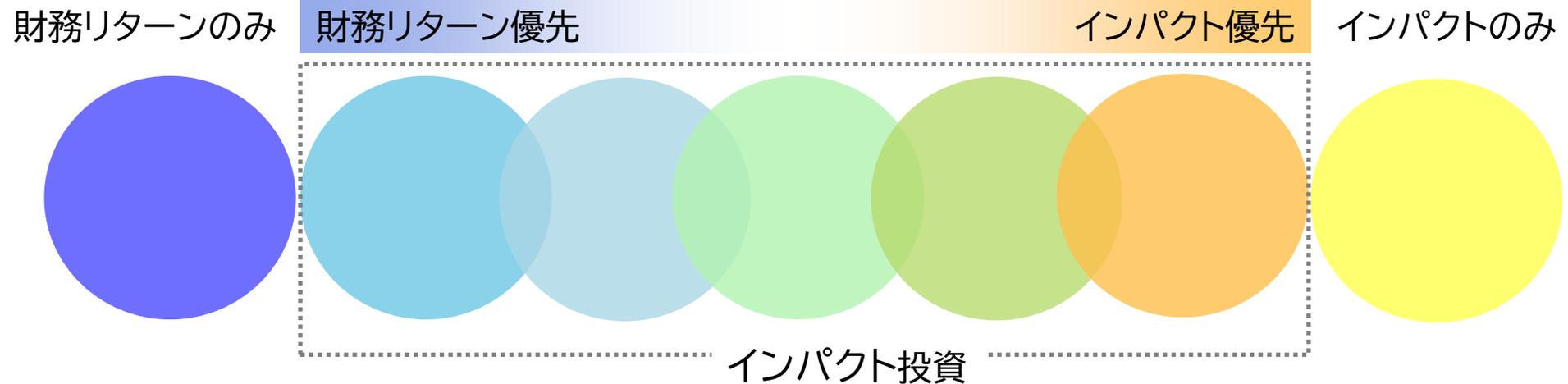
2025年10月末現在

制度の概要と休眠預金等活用の流れ



1 インパクトファースト

- ▶ 社会的インパクトの創出を最優先に考え、ファイナンシャルなリスクを前向きに引き受けるインパクトファーストを方針として掲げています。



2 社会課題解決を担う、ソーシャルイノベーションを力強く後押し

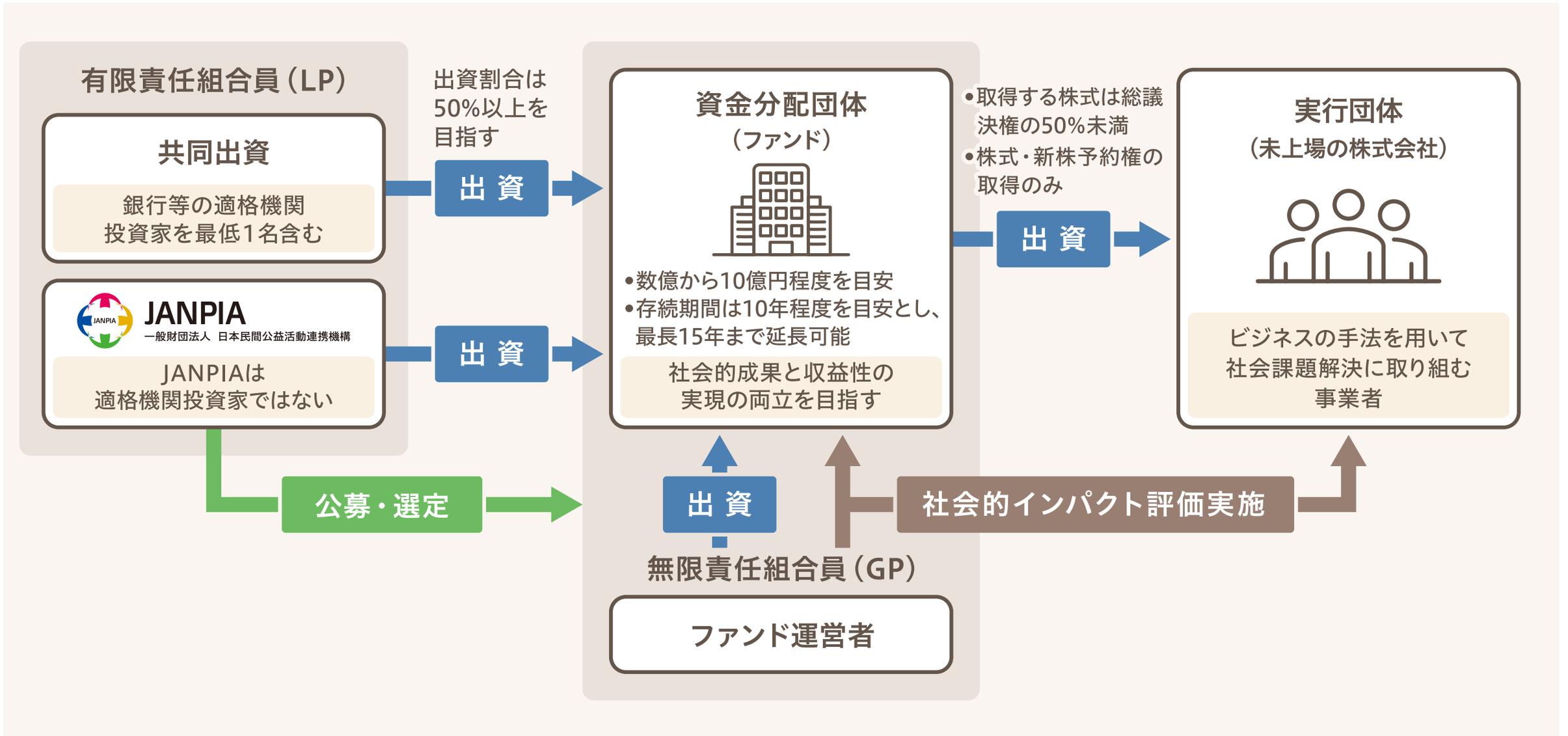
▶ 例えば、以下のようなイノベティブなチャレンジを応援します。

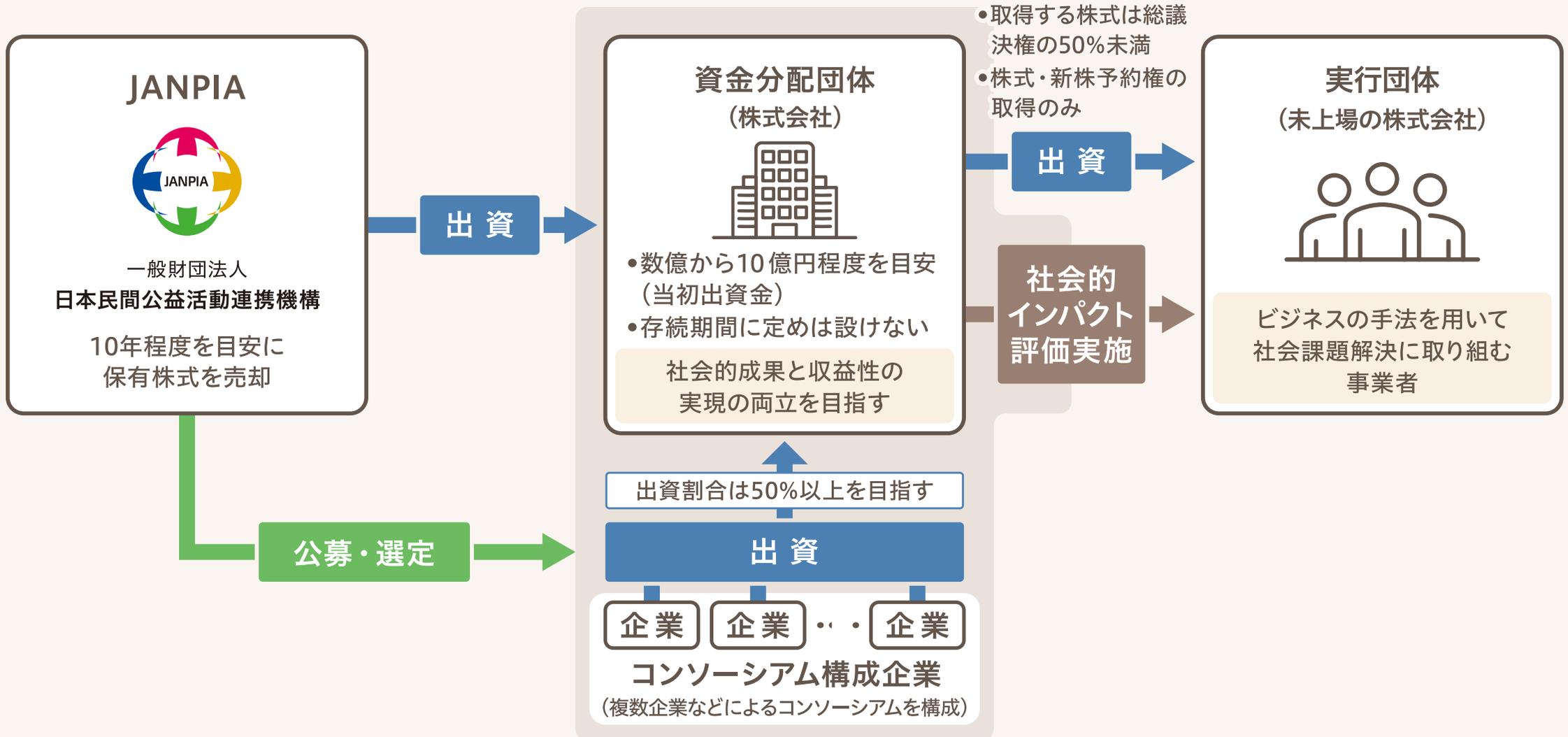
- 既存のVCや金融機関では出資が困難だった社会課題解決ビジネスに出資する事業
- これまでになかった伴走支援や連携等の仕組みを用いた事業
- 持続可能かつ多様なエグジット戦略に挑戦する事業
- 成功すれば他地域での展開も可能な、新たなソーシャルビジネスのモデル構築
- スケールするまでは、収益を確保することが難しいと思われる事業
- 人口減少が著しい地域において、社会基盤を支えるローカルベンチャー

3 社会課題・地域課題の解決のための投資資金の呼び水効果を発揮

▶ 社会課題解決の事業領域で、将来性は期待される一方、不確実性がやや高い、まだ市場が成熟していない、大きなリターンが期待できない等の理由により、民間企業や金融機関等が単独では出資しにくい領域に対して、呼び水効果が発揮されるよう、JANPIAは出資を行います。

ストラクチャー:ファンド出資型





▶ 劣後出資の試験的導入

- 一定の条件を満たす事業について、JANPIAの出資総額の過半に満たない額を上限(目安)として、劣後出資の仕組みを試験的に導入します。

特に民間資金の出資が得られにくい社会課題領域(例:障害を持つ人の起業支援事業や、罪を犯した人の更生事業、いじめ問題の解決を狙う事業など)に挑む事業者への出資機会を拡げ、事業の創出・成長を促進することを目的としています。

- JANPIAは出資元本(出資額の1倍)までは、出資比率に応じた分配を受け取りますが、それを超える利益部分については JANPIA は分配を受けず、他の共同出資者に分配する仕組みです。
なお、出資元本の回収ができなかった場合でも、JANPIA が損失を補填することはありません。

JANPIAロジックモデルに基づく総合評価の視点一覧(出資事業)



最終アウトカム	総合評価の視点	中間アウトカム	総合評価の視点	直接アウトカム	総合評価の視点		
民間公益活動の多様なアクターが連携した、社会課題解決のための自律的かつ持続的な仕組みが機能する	JANPIAが呼び水効果を発揮することで社会的インパクト投資の総量が増え、非営利セクターと営利セクターが資金を連携して供給するようになり、ビジネスの手法で社会課題解決を担う事業者が増え、社会課題解決が持続的に進展しているか	【主に資金分配団体】 地域や分野において、連携・協働を促進する中間支援機能が発展する	資金分配団体が、社会課題解決の具体的かつこれまでにない戦略を持ち、社会的課題解決と経済的な成長を意図する企業を支援しているか	資金分配団体を担う団体が増加し強化される	<ul style="list-style-type: none"> 課題・地域を含む多様な資金分配団体が増えているか 多様な資金提供手法・EXIT手法が実現されているか モデルとなるようなインパクトファーストファンドの事例が生まれているか 		
				JANPIAの資金分配団体支援機能が高まる	<ul style="list-style-type: none"> JANPIAが資金分配団体のインパクト投資家としての成長を支援しているか 資金分配団体のインパクト投資家としての機能が強化されているか（意思決定プロセス、評価、報告、等） 		
				中間支援機能を促進するPOが育っている	-		
				資金分配団体の社会的な信用・信頼が増す	<ul style="list-style-type: none"> 資金分配団体のガバナンス・コンプライアンスが強化されているか 		
		より多くの実行団体が、持続可能な活動基盤を構築し、活動を継続・発展できている	全国各地、多様な経営者の事業に資金が流れ、実行団体は出資後も経済的な成長と社会課題解決の解決の好循環を実現し続けているか			実行団体が各地域や分野で増える	<ul style="list-style-type: none"> 課題・地域を含む多様な資金分配団体が増えているか
						社会課題解決に向け事業を効果的・効率的に実施できている	<ul style="list-style-type: none"> 出資期間内に経済的に成長する実行団体が増えているか 出資期間内に（実行団体の）インパクトを志向する経営が進展しているか
						多様なステークホルダーとの連携・協働が増える	<ul style="list-style-type: none"> 新たな手法で課題解決に取り組む実行団体が増えているか 実行団体の事業に、新たに多様なステークホルダーが関与しているか
						実行団体の社会的な信用・信頼が増す	<ul style="list-style-type: none"> 実行団体のガバナンス・コンプライアンスが強化されているか
						実行団体が持続的に活動する目的がたてられている	<ul style="list-style-type: none"> 初めて資金調達を実現できた実行団体が増えているか 実行団体の行う事業において、事業性（ユニットエコノミクス等）が確立されているか
		課題解決に向けて民間公益活動を促進する情報が、多くの人に共有・活用されている	社会課題解決手法の知見化、インパクトファーストを中心とする投資の普及等を行い、インパクトファーストのコミュニティ形成に貢献するとともに、これら知見の有機的な活用が進んでいるか			事業の情報や知見が横断的に分析されている	<ul style="list-style-type: none"> 事業の情報や知見がJANPIAおよび資金分配団体により横断的に分析されているか
						資金分配団体や実行団体同士のノウハウが共有されている	<ul style="list-style-type: none"> 資金分配団体や実行団体同士のノウハウが共有されているか
						生み出された知見が広く情報発信されている	<ul style="list-style-type: none"> 本制度において広く情報発信がなされているか インパクトファーストに関心がある人の情報ソースとして機能しているか 生み出された知見が事業や制度に反映される仕組みやコミュニティが形成されているか